

一
粒
の
物
語
り
。



ほおばる幸せ。



雄大な自然が一粒に込めるメッセージ。



立山・八ヶ峰と仙人池

剣岳の裏側にたたずむ別天地・仙人池は湖面に映る逆さ裏剣や岩峰群と紅葉のコントラストなど素晴らしい景観。立山連峰から水深1,000mを越える富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックな地形。雪どけ水が急峻な地形を一気にくだり、平野に流れ込むので、水はつねに清らかで夏場でも冷たい。

一粒一粒に宿る「恵み」。

山

水源となる豊富な雪を蓄える、3,000m級の立山連峰。



日本有数の米どころ富山。

そこには、豊富な雪解け水を蓄える雄大な立山連峰があります。

その冷たい水を一気に平野へと運んでくれる河川があります。

そして、米づくりに適した日照時間を確保できる理想的な気候や、

栄養をいっぱいに含む扇状地があります。

どこにもない富山だけの恵まれた米づくり環境。

その全てと、作る人の意欲がひと粒ひと粒に刻みこまれています。
ここ

どうぞ富山の「恵み」をご堪能ください。



品質へのこだわり

生産者一人ひとりが品質にこだわり、県下全域で「美味しい・安全・安心」な米づくりを徹底しています。

令和2年産水稻の生産振興基本方針(富山県米作改良対策本部)

推進目標	重点推進項目
1. 多様なニーズに対応した県産米の品揃えの充実	<ul style="list-style-type: none"> 「富富富」の生産者登録制により、高品質・良食味の確保と生産拡大を図り、ブランド化を推進 「コシヒカリ」については、高温等の気象変動に対応した技術の徹底により、安定した高品質・良食味を確保し、ブランド力を向上 需要が堅調な業務用米では、気象変動に強い「てんたかく」「てんこもり」を中心に、低コスト・安定生産を推進 飼料用米、米粉用米、輸出用米等の新規需要米や加工用米については、実需者とのマッチングを図るとともに、大麦あと水田の有効活用など効率的な生産を推進
2. 高温に打ち勝つ米づくり	<p>[1] コシヒカリ偏重の是正</p> <ul style="list-style-type: none"> 高温条件でも品質が安定している「てんたかく81」、「富富富」、「てんこもり」の作付推進 労働力や機械・施設能力等に応じた、適期作業が可能な品種構成への誘導 品種構成は、担い手を中心に、早生20：中生60：直播コシ10：晩生10を目標に誘導 <p>[2] 出穂後の高温の回避</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」栽培における5月15日を中心とした田植えの確実な実施 「コシヒカリ」の直播栽培の推進による作期幅の拡大 <p>[3] 高温に打ち勝つ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋耕による稻わらの腐熟促進と深耕による根域の確保 有機物や土壤改良資材の確実な施用と地力増進作物の積極的な作付け 畦畔雑草の管理等によるカメムシ類の発生・増殖防止と、適正な防除の徹底等による斑点米の発生防止 <p>[4] 高温に打ち勝つ稲体づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 健苗の70株植え等による適正穗数の確保と、田植後1ヶ月までの中干し開始による根の健全化と過剰な粒数の防止 出穂後20日間の灌水管理による、稲体活力の維持 土壤診断に基づく基肥施用と生育や気象状況に応じた追肥の実施
3. 低コストな米づくり	<ul style="list-style-type: none"> ICTやロボット技術を活用した農機やシステムの現地実証等によるスマート農業の推進 直播栽培などの低コスト・省力技術の普及拡大 担い手への土地利用集積や農地の大区画化等による作業の効率化、施設・機械の効率的な利用等による生産費の削減
4. 「安全・安心」な米づくり	<ul style="list-style-type: none"> 富山県適正農業規範に基づくGAPや認証GAP及び生産履歴記帳の推進、農薬使用基準の遵守と周辺への飛散防止 農薬の使用量低減や化学肥料の使用量適正化の推進と、温湯種子消毒などの環境にやさしい技術の活用 農薬の危害防止や農作業事故の防止、熱中症対策等の農作業安全を推進

作付面積

(単位:ha, %)

品種名	令和2年産		令和元年産		
	作付面積	作付割合	作付面積	作付割合	
うるち米	コシヒカリ	26,100	70.2	26,500	71.2
	てんたかく	3,900	10.5	4,000	10.8
	てんこもり	2,700	7.3	2,600	7.0
	富富富	1,290	3.5	1,113	3.0
	その他	1,067	2.9	808	2.2
	酒造好適米	1,000	2.7	1,028	2.8
	小計	36,120	97.1	36,089	97.0
もち米	1,080	2.9	1,111	3.0	
合計	37,200	100.0	37,200	100.0	

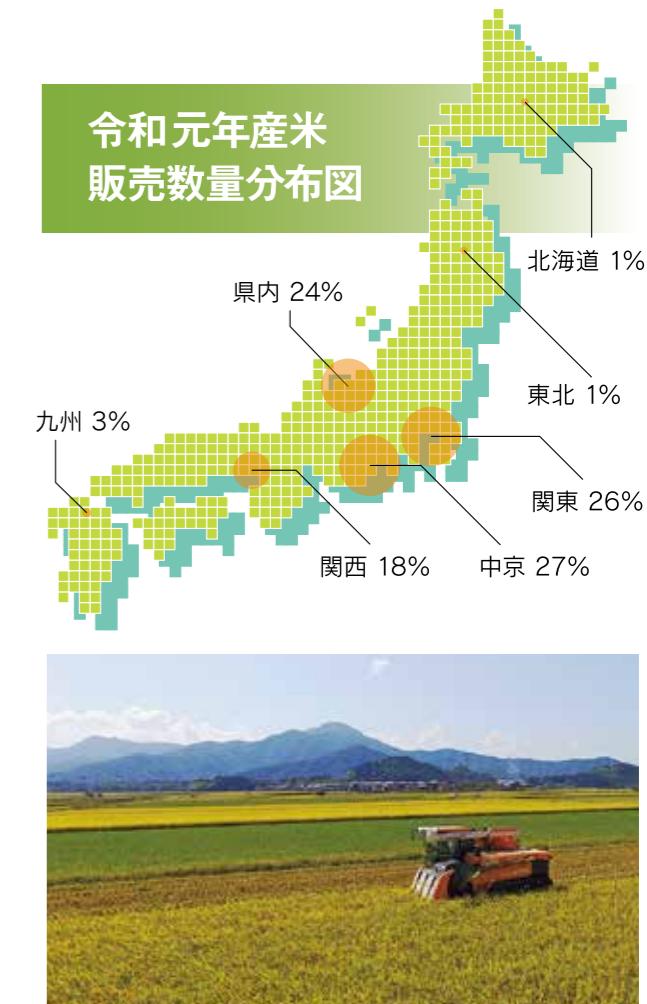


令和2年産米販売計画

出荷契約米販売計画 (単位:トン)		
	銘柄	令和2年産計画
うるち米	コシヒカリ	65,300
	てんたかく	6,900
	てんこもり	4,800
	富富富	6,100
	その他	2,400
	計	85,500
	酒造好適米	2,900
もち米	五百萬石他	1,600
合計		90,000

※加工用米・備蓄米は除く

令和元年産米販売数量分布図



安全・安心への取り組み

種もみ生産と種子更新率

富山県の種もみ生産は、江戸時代から連綿と引き継がれ、栽培技術や調製技術の研究・改良を重ね、全国にその名が知られており、県間流通する種もみの約6割を占めています。このように伝統ある種もみ産地を背景に、高い種子更新率を推奨しています。



種もみ発祥の地の記念碑

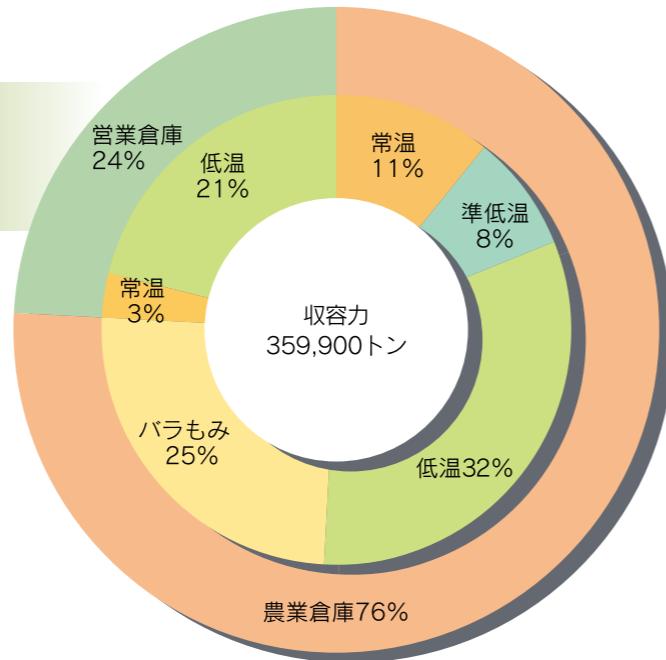


高品質な富山県産種もみ

令和2年 米穀保管倉庫の設置状況



整然と保管されている富山米



(単位:玄米トン)

区分	倉庫	農業倉庫	営業倉庫	計
常温	39,000	11%	10,700	3% 49,700 14%
準低温	27,700	8%	—	— 27,700 8%
低温	118,000	32%	75,400	21% 193,400 53%
パラもみ	89,100	25%	—	— 89,100 25%
計	273,800	76%	86,100	24% 359,900 100%

令和2年3月現在 (標準収容力)

JJA米の取り組み

令和元年産米の集荷実績に占めるJJA米の比率は、99.9%となりました。引き続き、JJA米比率100%を目指すとともに、内容の精度向上をはかります。

JJA米 (次の条件をすべて満たすもの)

- 品種が確認できた種子により栽培した米穀
- 登録検査機関で検査された米穀
- 生産履歴が記録され、JJAが確認し適切と認めた米穀



富山米適正農業規範(とやまGAP)の取り組み

安全な農産物を求める声に応えるため、GAPチェックシートによる自己点検と農作業の改善に努めます。

残留農薬等のモニタリング検査

安全性の確認のため、残留農薬等のモニタリング検査を実施します。

- 令和元年産米検査実績 県下全域を対象に残留農薬320点、カドミウム560点

また、取引先からの要請(残留農薬、カドミウム、DNA等)があれば、協議のうえ対応します。

異品種・異物の混入防止

生産者への啓発活動や、JJA等における乾燥調製設備の適正な点検・整備・運営を指導するなど、異品種や異物の混入防止をはかります。



ほほえもうまさ、富山から。



富富富の特徴

POINT1 暑さに負けない高品質なお米

- ①高温の夏でも白未熟粒が少ない。
- ②草丈が短く、倒伏しにくい。
- ③いもち病に強く、農薬の使用量が節減できる。

POINT2 ゆたかな旨みの広がるお米

- ①粒揃いが良く、きわだつ旨みと甘み。
- ②炊き上がりの香りとつや。
- ③生産者を限定し徹底した栽培管理で、安全・安心を追求。

名前に込めた思い

- 富山の水、富山の大地、富山の人が育てた富山づくしのお米。 ●食べた後の幸せな気持ち(ふふふ)を表す。
●「富」は、豊かさやめでたさにつながる。

木村文乃さんが出演する富富富CM公開中!

富山の農家の娘さんを演じるのは木村文乃さん。年に一度の収穫時期に今年もお父さんの手伝いをするため帰ってきました。二人きりの食事中、娘の一言に、お父さんは思うことがあって目頭が熱くなってしまいます。愛情を込め育てたからこそ気づくこと。富富富から生まれる幸せな瞬間を表現しました。



富富富「愛されて、育ちました」篇

魚、肉、果物、野菜。
ずらりとそろう食の王国、富山県。
でも、それだけじゃないんです。
富山には、なんといっても、米がある。
立山連峰の豊富な雪解け水で育てられる、
すばらしいお米があるということを、
もっとみんなに知ってもらいたい。
そのため、富山のお米の代表選手「富富富」は、
もっともっとがんばりたいと思います。



富 う ほ
山 ま さ
か ら
え む



新湊大橋



黒部峡谷 トロッコ電車



瑞龍寺



環水公園



立山 雪の大谷



チューリップ畠



越中八尾おわら 風の盆



黒部ダム

ほおばる幸せ。

